

フォトコンテストの実施に向けて 文化・歴史部会長 宮下新司

文化・歴史部会では、北部地区内の忘れ去られてはいけない文化・歴史を守り、継承し、発展させ、誇れる郷土となるような魅力アップを目指しています。今年度は、地域の資源や伝統文化を記録として残し、いつでも人々が関わり合えるよう、地域内外への積極的な情報発信に重点を置きます。

(子安地藏)



令和3年度(11月28日～3月31日)の準備期間を経て、令和4年度事業計画を検討してまいりました。

北部地区の文化・歴史資産をどのように記録・発信するか? 保存・継承するか? どのようにして地域と連携するか? 検討の結果、得られた結論は「スマートフォンで取得した映像、音声、動画等を活用したらどうか」です。

こんなことを思案中の3月4日、早朝に呈蓮寺に墓参をしたときに朝日を受けて優しい顔をしていた子安地藏に会いました。まだ寒い季節でもありました。毛糸の帽子をかぶったお地藏様の温かな顔と子どもの姿をみて思わずスマホのシャッターを押しました。令和3年度の準備期間中に文化・歴史部会が検討していた令和4年度の活動の思案(フォトコンテスト・ガイドツアー)が具体化した瞬間でした。

地域の多くの方に文化・歴史資産に興味を持っていただきながら、保存・継承、記録・発信、連携に参加していただくフォトコンテストを実施しよう。令和4年度の主テーマです。

ところが昭和生まれの文化・歴史部会員にはスマホで写真や動画、音声など文化歴史資産の記録・発信が苦手な人が通りたい人ばかり。

フォトコンテストは10月上旬に募集開始。11月に実施する予定ですが、期間中に北部地区の文化・歴史資産をガイドするツアーも計画し、参加された皆様方を文化・歴史部員と自治会長がご案内をしたいと考えております。そのために、文化・歴史部会員がスマホの操作をマスターすることが必須となり、ドコモショップ上田店のご協力をいただき文化・歴史部会員と自治会長対象に、スマホ操作の講習会に取り組んでいます。6月、7月、8月に実施するスマホ操作講習会、9月の体験ツアー(文化・歴史部会員対象)を経て、フォトコンテスト期間中のガイドツアーに参加者と共に成果を出していこうとしております。

フォトコンテストと、ガイドツアーの参加をお待ちしております。

北部地区まちづくり協議会だより

第2号 発行日:令和4年7月16日 発行者:北部地区まちづくり協議会(会長 古川悦子)

令和4年度の事業の本格化にあたって

北部地区まちづくり協議会 会長 古川悦子



令和3年11月28日に設立した北部地区まちづくり協議会は、活動開始後、半年を迎え、この度、初めて定期総会を開くことができました。

この北部地区まちづくり協議会は、11自治会の代表である自治会長さんを始め、社会福祉協議会など福祉や健康推進の団体に所属している方々、地域の学校関係者、治安、防災に携わる方々や民間会社を含め、多くの参画団体の協力を得て成り立っております。

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、私達の暮らしはいろいろな制約を受け、様々な我慢を強いられました。ごく当たり前にならざるに暮らせる事の幸せを、誰もが感じたのではないのでしょうか。そしてコロナ感染の収束を願いながらも、以後の生活に対する不安感も若干あります。

その中で立ち上げたばかりの協議会ですが、地域に根ざした活動を少しずつ始めています。今、行っている事、できる事、今しかできない事を、活動を通じながら、小さなまちづくりから大きなまちづくりを目指し、押し進めています。

更に多くの方々のお知恵を拝借し、工夫を重ねて発展させていきたいと考えています。大勢の皆様のお参画をお待ちし、お一人おひとりのご協力をお願い申し上げます。

令和4年度定期総会が開催されました。

令和4年5月22日(日)、定期総会が上田市中央公民館で開催され、令和3年度の事業報告・決算、令和4年度の事業計画・予算について慎重審議の結果、いずれも承認されました。

■令和3年度の主な事業報告と決算額

主な事業名	内容	決算額
組織運営事業	仮事務所機器購入・設置費用等	141万円
情報発信事業	会報発行(全戸配布)	10万円
フォトコンテスト事業	イベント(フォトコンテスト事業)開催に向けた学習会	21万円
押出川環境整備事業	案内看板設置、植樹祭準備	55万円
その他	歴史・文化学習事業、黄金沢看板設置等	19万円
合計		246万円

■令和4年度の主な事業計画

- 事務局:会報の発行、本事務所設置
- 安全・防災部会:防災講演会の開催、北部地区防災計画の策定
- 文化・歴史部会:フォトコンテスト事業
- 環境・生活部会:押出川環境整備事業、黄金沢川周辺事業

フォトコンテストのボランティア運営スタッフを大募集! ~文化・歴史部会~

◎企画内容(案)

- ・北部地区の四季折々の移り変わりやまちのイベントの写真を募集し、写真をマッピングして、Instagram、Facebookにアップ。(勉強会の様子)
- ・北部地区内の興味ある場所を分析・検証。
- ・撮影対象は北部地区の風景、寺社仏閣、文化・行事、花等なんでも可。

◎コンテスト運営のための勉強会を開催

- ・運営スタッフに応募された方も、勉強会に参加できます。

◎お問い合わせ先 文化・歴史部会専用アドレス

bunkarekisi.hokubu@gmail.com まで



【お問い合わせ先】北部地区まちづくり協議会 Tel.0268-55-8433 / (e-mail) hokubu12@ueda.ne.jp

防災講演会を開催 安全・防災部会長 山岸保博

5月22日(日)、定期総会に引き続き、国内の各地で3D ハザードマップを活用した防災教育のプロ、宇津木慎司先生を講師にお迎えし、「水害・土砂災害から身を守る ～想定を超える災害にどう備えるか、地域を知り防災を考える～」をテーマとして、北部地区にフォーカスした防災講演会を開催しました(共催:上田市防災士等連絡協議会)。

総会代議員のほか北部地区自治会や上田市消防団(第3分団、第12分団)の関係者も含め、約60名が参加しました。

北部地区にある太郎山、染屋台地などの山や斜面、矢出沢川、黄金沢川、押出川、蛭沢川などの河川を形成している地盤と災害との関係を3Dマップで示した内容を熱心に聴講しました。

<講演内容から>

○北部地区の地質:石は固いが割れ目が多い岩=山が崩れやすい。

○洪水の起こりやすい場所は

周囲より低い箇所・川の下流側、川が合流する箇所(直角に合流する場所は特に危ない)、川の流れ曲がる箇所、川幅が急に狭くなる箇所

○土砂災害には、がけ崩れ・地すべり・土石流があります。

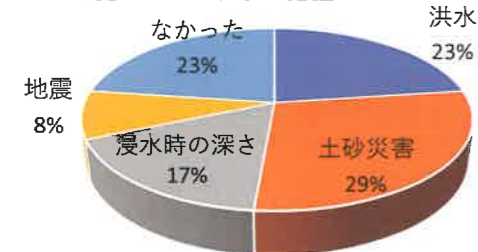
	がけ崩れ	地すべり	土石流
場所	急斜面	緩斜面	急斜面(谷)
速度	速い	遅い	速い
水の量	少ない	多い	多い

<アンケート結果から>

大災害発生の確率が高まっているかとの質問に、9割の方が「とても感じる」または「ある程度感じる」と答えています。

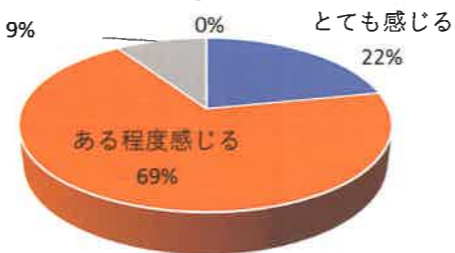
ハザードマップで確認できた災害リスク

マップを見たがリスクまで把握し

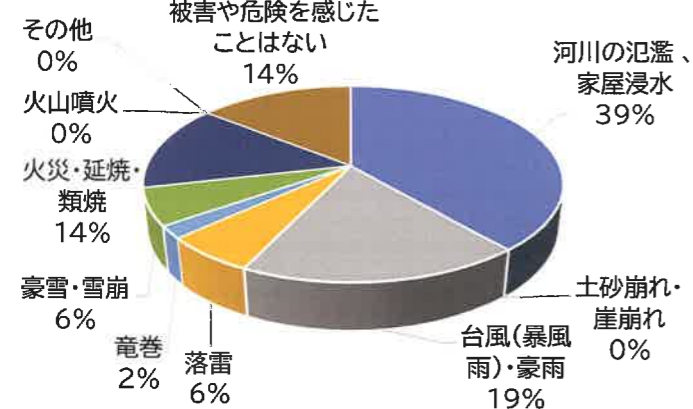


大きな災害の確率が高まっていると感じるか

あまり感じない 全く感じない とても感じる



自宅・近隣で受けた災害や感じた危険



環境・生活部会の今年度の活動計画 環境・生活部会長 柳澤利文

令和4年度は、「次世代に残す美しい里づくり」と「愛されるまちづくり」を活動テーマに、自然を活かしたまちづくりと高齢者対策を中心に住みやすい福祉に取り組みます。

【押出川】



押出川流域自治会連合会の「花桃が咲き、ホタルが舞う里づくり活動」を支援していきます。6月には街中では全国でも珍しい「自然繁殖」のホタルが舞います♪



【黄金沢】

「河川空間のオープン制度」を活用して、付近の神社や両岸の公園まで含めた水辺公園化を目指して、長野大学環境ツーリズム学部の学生による「将来構想の提案」を検討していきます。

(写真:黄金沢の桜の大木)



【山口地区】

山口地区の両側にある尾根の山城跡や、東の豊城、西の花古屋城跡、白山比咩神社、黄金沢源流の奥にある西光寺平といわれる地区を活用したトレッキングコースの設定や城跡の紹介を検討していきます。

【矢出沢川・蛭沢川・旧上田丸子電鉄跡等】

西部地区の矢出沢川にある遊歩道的な側道も含めて北国街道、旧上田丸子電鉄の線路・駅跡を巡る散策道を検討していきます。

【お寺・神社】

北部地区の歴史を偲びながら寺社を巡る散策道の検討や地区内の文化財、伝統的な行事等を発掘した特別展示会の開催(次年度以降)を目指して、検討を進めます。

【福祉政策や地域ふれあい事業の活性化と促進】

高齢者地域サロン、地域リハビリテーション等、先進的な取り組み事例を調査し、北部地区内での取り組みを関係団体に働きかけます。

【青バス・赤バス等、地域交通手段の検討】

高齢者が利用可能な公共交通手段の利用実態を調査し、関係者との協議により生活環境の改善を提案していきます。

(上田医療センター起点 青バス・赤バスの利用者調査等)